

8/20(月) 隈府バレーボールクラブが九州大会で優勝

隈府小学校（高村秀夫校長）の児童を中心に活動している、隈府バレーボールクラブ（富田貴久雄監督）のメンバーが、第27回九州ブロックスポーツ少年団バレーボール交流大会で優勝し、その報告に菊池市役所を訪れました。7月7日（土）に県総合体育館であった熊本県スポーツ少年団バレーボール交流大会で準優勝し、この九州大会へ出場したものです。

同クラブのメンバー8人と高村校長、長谷野二郎コーチ、福島靖子マネージャーが福村市長を訪れ、試合結果を報告。福村市長が「チームプレイでの勝利だと思います。これからも健康に十分注意しながら更に力をつけてください。おめでとうございます」と激励しました。

メンバーの子どもたちは「うれしかったです。チームがひとつになって優勝できたと思います。支えてくださった周りの皆さんにも感謝の気持ちでいっぱいです」と喜びを話してくれました。

九州大会は8月10日（金）から8月12日（日）にかけて宮崎市で行われ、各県から県大会を勝ち抜いた22チームが出場して熱戦が繰り広げられました。

メンバーたちは、6年生最後の大会となる熊本県小学生バレーボール大会（11月開催）に向けて、練習を頑張っています。



優勝の報告に訪れた隈府バレーボールクラブのメンバー

8/24(金) (株)九州イノアックと工場増設協定調印

プラスチック部品製造の(株)九州イノアック（岩見裕正代表取締役社長）菊池工場の新棟増設に伴う協定調印式が、県立会いのもと行われました。

熊本県庁であった調印式には、岩見代表取締役社長、村上副市長、島田商工観光労働部長などが出席。協定書への署名が行われ、岩見代表取締役から「地域産業を担う一員として、今後も地域に貢献していきたい」と抱負が述べられました。

同工場は、昭和48年8月に九州井上ゴム（株）として設立。主にプラスチック製品の生産を行っており、本市の工業振興に貢献されています。

今回の新棟増設は、現在勢いのある北部九州の自動車産業への需要拡大に伴うもので、自動車用のプラスチック内装部品が増産されます。今年11月に建設工事に着工し、地元から新たに18人程度の雇用も予定されています。



調印後に手を取り合う3人。左から村上副市長、島田商工観光労働部長、岩見代表取締役社長

8/26(土) 第8回斑蛇口湖ふれあいレガッタ



息の合ったオールさばきで一斉にスタートする参加者

斑蛇口湖ふれあいレガッタが竜門ダムの斑蛇口湖ボート場であり、市内外から27チームが参加しました。レースは漕手4人と舵手1人が1艇の舟に乗り込み、オールを漕ぎながら300m先のゴールを目指すタイムレースで行われました。

スタートと同時に息の合ったオールさばきで他に大差をつけてゴールするチームや、右に左に蛇行しながらやっとのことでゴールするチームなどさまざま。参加者はボート競技の楽しさを存分に体験しました。上位の結果は次のとおりです。

一般の部 1位 イノアックAチーム、

2位 龍山、3位 フラッシュオーバー

女子の部 1位 日田ジュニアローイングチーム、

2位 かぐや姫（イノアック）、3位 花房A

8/19(日) 「食育の日」普及活動

毎月19日は「食育の日」として位置づけられていることを受け、菊池市内の6カ所（旭志道の駅、泗水道の駅、メロンドーム、泗水マルショク、キャニオン、夢空間）でヘルスメイトによる食育に関するチラシと簡単スピード朝ごはん献立の配布が行われました。

この日は日曜日でもあったため買い物客が多く、その中でヘルスメイトは「毎月19日は食育の日です。食育の日には家族そろって食事をしましょう」と買い物客にチラシを配りながら笑顔で呼びかけました。

チラシを受け取った人々からは「最近よく“食育”という言葉を目にします。19日が食育の日とは知りませんでした」との声が多く聞かれました。

食育は改まって取り組むものではなく、毎日の食卓から自然に学び身につくものです。「何」をどのように食べて育つかは、勉強や遊び、運動をするのと同じように子どもたちの成長に関わる重要なことです。

家族そろって囲む楽しい食卓は、家族の貴重なコミュニケーションの場になります。ぜひ、家族そろって1日1回は食卓を囲むようにしましょう。

※「ヘルスメイト」とは、菊池市食生活改善推進員の愛称です。菊池市民の食を通じた健康づくりのために活動しています。



買い物客にチラシを配るヘルスメイト

8/19(日) くまもと・みんなの川と海づくりデー

七城町の鴨川河畔公園一帯と菊池川河川敷で美化清掃作業が行われました。早朝にもかかわらず約400人の参加があり、作業を前に福村市長が「菊池川の最上流域に暮らす者の務めとして、率先して保全していくことは本市の使命です」とあいさつ。早速作業にかかり、約2時間の間にたくさんのごみが集められました。

回収されたごみは、燃えるごみ約400kg、燃えないごみ約250kgにもなり、主なものは空き缶やペットボトルなどでした。また、公園内の河川の中にも上流から流れ込んだ多くの空き缶などがあり、マナーの悪さを感じられました。

熊本県では、平成14年度からふるさとのきれいな川と海を守り、次の世代に伝えていくことを目指して「くまもと・みんなの川と海づくり県民運動」が提唱されており、川や海への感謝を込め、毎年県下一斉に美化清掃作業が実施されています。



鴨川河畔公園一帯で美化清掃作業をする参加者たち

8/17(金)～19(日) 泗水中が第15回全国中学生空手道選手権女子団体組手で優勝



全国大会で活躍した泗水中のメンバー。前列左から吉安さん、松本さん、田代さん

全国中学生空手道選手権が千葉県浦安市であり、女子団体組手で泗水中の吉安珠貴さん（3年）、松本めぐみさん（2年）、田代真麻さん（1年）が優勝しました。

3人は「昨年は3位だったので優勝できてうれしいです。練習の成果が出せたし、相手より気持ちが勝っていたと思いました」と喜びを話してくれました。

また、男子個人組手で同じく泗水中の田代 峻くん（3年）がベスト16に、男子団体形で高木勇伸くん（3年）、中野瑞紀くん（2年）、中島弘樹くん（2年）、田代 峻くん（3年）、飯塚優志くん（3年）が3回戦進出、女子個人組手で松本めぐみさん（2年）が3回戦進出、吉安珠貴さん（3年）がベスト16を果たしました。